

広報いちのせき chinoseki I-Style

Stylish & Smiling, Anytime, Anything, By Your Side, With Your Life
<http://www.city.chinoseki.iwate.jp>

中東北の拠点都市一関の
元気を発信するマガジン

8.15

August
2012 No.166

全国に挑む岩手最速の6年生

COVER★練習に励む一関ジュニアクラブのメンバー
撮影日 8月2日 場所 一関小学校グラウンド

6月3日に市運動公園陸上競技場で開かれた一関地区予選会は54秒54で圧勝。瞬発力のある畑瀬雅矢(100M14秒1)が1走。2走はエース佐藤颯人(100M13秒6)。3走はコーナーワークのうまい主将菅原雄大(100M13秒8)。アンカーはスピードある鈴木健人(100M14秒2)とバトンパスのうまい天沼優直(100M14秒3)だ。横浜では51秒台で上位入賞を狙う

は気合い十分だ。
小学校最後の夏、岩手最速の5人は、聖地横浜で新たな歴史を刻む。

全国大会は8月25日、横浜総合国際競技場「日産スタジアム」で開かれる。「目標は表彰台」とキャプテンの菅原雄大君(同校6年)は気合い十分だ。

「スピードのある選手がそろった。練習量ならどこにも負けない」と菊池勝彦監督。県代表として挑む全国大会では「バトンパスの精度を高め、上位を狙う」ときっぱり。

キレのある走り。見事なバトンパス。400メートルを53秒48で駆け抜けた。
7月15日、北上総合運動公園陸上競技場で開かれた「第28回全国小学生陸上競技交流大会岩手県大会」。岩手最速を決める男子400メートルリレーで初の頂点に立った。

陸上競技 男子4×100Mリレー 一関ジュニアクラブ

写真左から佐藤颯人君、鈴木健人君、菅原雄大君、天沼優直君、畑瀬雅矢君(いずれも一関小6年)





一関で世界防災閣僚会議

「世界防災閣僚会議 in 東北」は7月3、4の両日、岩手、宮城、福島で開かれた。会議には約80カ国の防災担当大臣や国際機関の代表など約500人が参加。

「防災の主流化」と「強靱な社会の構築」に向けた国際社会の政治的公約を表明した。



震災の経験と知見を共有 「防災の主流化」を推進

STEPS TO REVIVE 復興への道程



仙台で全体会合 21世紀型の防災を提案

会議には63カ国の外務大臣や防災担当大臣、14の国際機関の代表、国内外のNGOや民間セクターの代表など約500人が参加した。初日の3日は仙台国際センターで全体会合が開かれた。開会式であいさつに立った野田佳彦首相は「日本は震災で得た知見と教訓を世界各国と共有し、国際社会に貢献していく」と述べた。続いて、大きな災害を経験した各国の防災担当大臣や外務大臣が基調報告やパネル討論を行った。

このうち「東日本大震災および最近の大規模自然災害の経験の共有」をテーマに基調報告した平野達男復興大臣は、被災の現状、政府が行った取り組み、震災の教訓と今後の課題などについて報告。「東日本大震災は過去に例のない大災害だった。私たちは必ず復興し、支援いただいた皆さんに応えたい」と述べた。

今回の会議では、防災の重要性を国際的に再確認し、防災の主流化と強靱な社会の構築に向けた国際社会の政治的公約を表明した。具体的には、防災への投資、

防災訓練や防災教育に力を入れることが災害に強い持続可能な発展につながると強調。▼高齢者、女性、障害者などに配慮した安全保障▼ハード・ソフトの効果的な組み合わせによる対応▼国と地方、産官学などの違いを越えた広範な連携などが示され、「21世紀型の防災」が提案された。

一関で分科会 予防と減災を考える

4日は一関、石巻、福島の3市で分科会が、仙台国際センターでは市民団体による

ワークショップやパネル展が開かれた。このうち、ベリノホテル一関で開かれた分科会には、日本をはじめとする24カ国と世界銀行など4国際機関の外相や防災担当大臣ら約60人が参加。パネル討論を通して、自然災害に強い社会構築の取り組み方について考えた。

分科会のテーマは「やがてくるその日のために―予防、減災」。冒頭、津川祥吾復興庁政務官は「東北の経験や知見を世界が共有できることを願う」とあいさつ。勝部修市長は岩手・宮城内陸地震と東日

本大震災からの復興の取り組みや沿岸被災地への支援活動などを紹介しながら「東北を忘れないでほしい。必ず復興する」と呼び掛けた。続いて、カンボジア、ブラジル、国土交通省、NPO法人遠野まごころネットのパネリスト4人がそれぞれの取り組みや課題などについて討論した。リ・トウイカンボジア国家災害対策委員会副委員長は「災害時には、正しい判断と迅速な対応が求められる。国レベルでの強いリーダーシップが必要」と指摘した。奥田健国土交通省副大臣は「各国の

本大震災からの復興の取り組みや沿岸被災地への支援活動などを紹介しながら「東北を忘れないでほしい。必ず復興する」と呼び掛けた。続いて、カンボジア、ブラジル、国土交通省、NPO法人遠野まごころネットのパネリスト4人がそれぞれの取り組みや課題などについて討論した。リ・トウイカンボジア国家災害対策委員会副委員長は「災害時には、正しい判断と迅速な対応が求められる。国レベルでの強いリーダーシップが必要」と指摘した。奥田健国土交通省副大臣は「各国の



④ページ 1) パネリストやコメンテーターの発表を真剣な面持ちで聞く各国の代表/2) 資料に目を通す参加者/3) 歓迎のあいさつをする勝部修市長/4) 各国の代表、関係者など約120人が参加した世界防災閣僚会議一関分科会

⑤ページ 5) 分科会終了後、一関遊水地を視察した奥田健国土交通省副大臣と勝部市長/6) 分科会会場前で開かれたパネル展。震災当時の様子を記録したパネルを見て各国の代表はその被害状況に驚いていた/7) パネリストの奥田健国土交通省副大臣/8) リ・トウイ カンボジア国家災害対策委員会副委員長/9) フェルナンド・ベゼーラ・ジ・ソーザ・コエーリョブラジル国家統合大臣/10) 冒頭あいさつをした津川祥吾復興庁政務官/11) 達曾拓也岩手県知事に代わりあいさつした佐々木幸弘岩手県政策地域部副部長兼地域振興室長/12) コメンテーターの今村文彦東北大学教授/13) 司会のマルガレータ・ワルストロム国連防災戦略、事務総長特別代表・防災担当/14) パネリストの多田一彦遠野まごころネット理事長



自然条件や社会状況に違いはあるが、大規模災害に対し、平時時から防災の取り組みを強化することの重要性は変わらない」と日常の備えを強調した。多田一彦遠野まごころネット理事長は「人も団体も救助・支援を第一に動く。その本質がぶれない組織をつくることのできる強い社会をつくれる」と災害支援に当たる組織の在り方について述べた。フェルナンド・ベゼーラ・ジ・ソーザ・コエーリョブラジル国家統合大臣は「ローカルな能力を高めることの大切さ、防災計画の立案・それに対する投資・計画の練り直しを行う勤勉さが大切ではないか」と提案した。

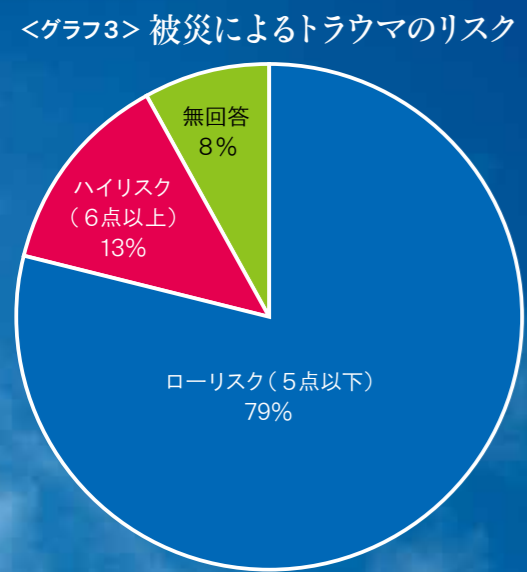
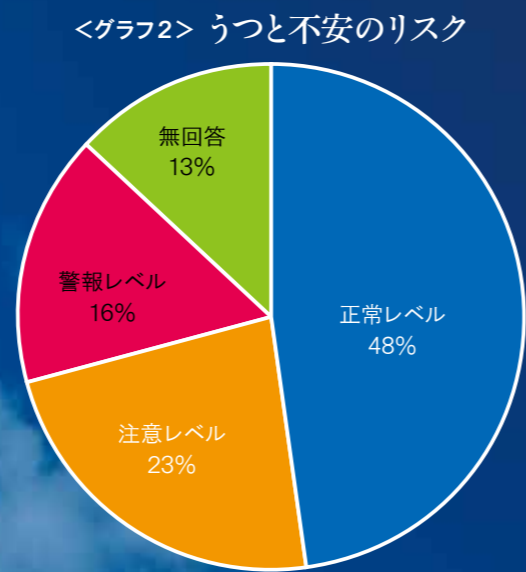
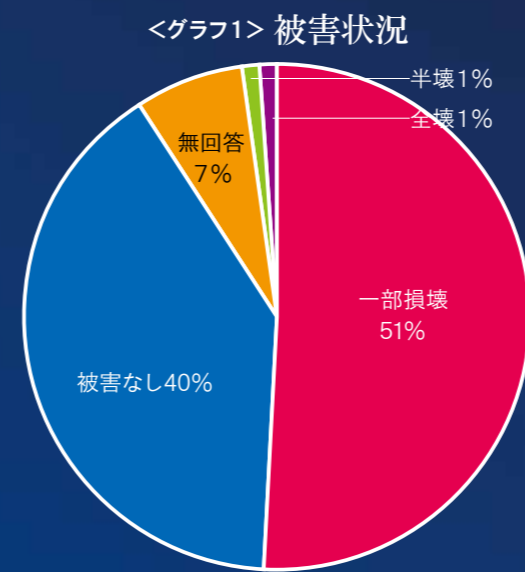
コメンテーターの今村文彦東北大学教授は「被災体験を伝えていく防災教育が重要。過去の災害データをベースとして」と提案。防災教育の徹底と震災の経験や教訓をアーカイブに残すなど、新しい防災文化の必要性を強調した。司会のマルガレータ・ワルストロム国連防災戦略、事務総長特別代表・防災担当は「30、40年先を見通したリスク管理が重要。限界を知ること、国際協力の力を信じることも大切」と締めくくった。

STEPS TO REVIVE

復興への道程

形のない災害 「地域」で取り組む ここからのケア

多くの人の日常を奪った東日本大震災。
悲しみと恐怖による心の傷は深い。
真の復興のために欠かせないもの。それは笑顔。
みんなが元気を取り戻すまで、一人一人に笑顔が戻るその瞬間まで、
私たちができる支援をしていこう。心寄り添って。



・4点以下…**正常レベル**
・5～9点…**注意レベル**＝うつあるいは不安の注意報。10%の確率でうつ病・不安障害
・10点以上…**警報レベル**＝うつあるいは不安の警報。50%の確率でうつ病・不安障害



4月27日「被災者家庭訪問従事者ワークショップ」で講演する千葉大大学院医学研究院 子どものこころの発達研究センターの新津富央特任助教⑥と高岡昂太特任助教(テーマ:「よりよい一関市被災者家庭訪問におけるこころのケアを目指して」) / 両特任助教の講演を真剣なまなざしで聴講し、ワークショップで議論し合う家庭訪問の従事者の皆さん(中央)



震災がもたらした「こころのダメージ」

自然災害や人的災害の後、にさまざまな心理的反応が生じることは、多くの人が認識しつつある。にもかかわらず、「自分は大丈夫」「そんなことにはならない」となどと考えるはいないだろうか。災害後、心に傷を負うことは他人事ではない。

東日本大震災後、被災地から遠く離れた地域でも、うつ病の悪化や急性ストレス障害などが報告されている。その要因は「生命の危機」「悲惨な体験」「家族や友人の死」「家財の喪失」「災害後の生活の変化」「将来への不安」「現実生活上のストレスの増大」などだ。

こうした心理的反応は、自然によくなることが多いが、大規模な災害では「うつ病」「アルコール依存症」「心的外傷後ストレス障害」(PTSD)などの精神疾患を発症する人も少なくない。放っておけば、立ち直りが遅れるばかりでなく、自殺など取り返しのつかない最悪の事態になることも考えられる。

市健康づくり課の鈴木久新津富央千葉大大学院特任助教は「サポートやケアを必要とする人は、私たちの身近にいます。リスク段階を量りながら被災者への支援方法を考え、行動しなければなりません」と、被災者へ寄り添うことの大切さを強調する。

一人一人が正しい知識と適切な行動を

地域住民への心理教育も「災害時のこころのケア」として重要だ。「被災者にとどのような心理的反応が起きるか」「その反応はどう変化していくのか」「変化する反応に周囲はどう対処すればいいのか」など、正しい知識を学び、適切な行動で対処することが求められる。

特に伝えなければならぬ心理的反応は「異常な状況

仁子課長補佐は「復興に心のケア・サポートは欠かせない。被災者の状態に慮じて適切なケアを提供していくことが大事」と話している。

千葉大と共同で「こころの健康」を調査

市は、今年2月から3月まで、大地震を経験した市民(無作為抽出2400人※旧市町村ごと300人ずつ)を対象に「こころの健康調査」を実施した。調査は、岩手県精神保健センターから支援要請を受けた国立千葉大との共同調査で、同大と当局が協働で支援活動を展開。「家屋の被害状況」「うつと不安」「被災によるトラウマ」などについてアンケート調査した(回答者数902人)。

その結果、▼「家屋の被害状況」は①一部損壊：51%②被害なし：40%(グラフ1)。
▼「うつと不安のリスク」は①正常レベル：48%②注意レベル：23%③警報レベル：16%④だつた(グラフ2)。
▼「被災によるトラウマのリスク」は①低リスクの人：79%②高リスクの人：13%③などとなっている(グラフ3)。
回答者の半数以上は家屋被

に対する「正常な反応」で、誰にでも起こる「自然な反応」であり、「メンタルヘルス上の援助が必要な人を見つけ出して援助に導く」「精神的問題に関して一般の人々に知識や情報を提供する」「精神的な問題が生じた人の差別化や偏見を防ぐ」ことが大切だ。これらは災害時だけでなく、日頃から行われるべきことである。この「当たり前」を地域行政、専門機関が連携しながら日常化していくことが最も重要なのである。

高岡昂太千葉大大学院特任助教は「まずは、安全・安心・安眠が確保されていることが大前提。よりよい避難生活が確保され、被災状況や今後の見通しなどが正しく情報提供されなければ、こころのケアに力を入れても平穏な心は取り戻せません」と表情を引き締める。



STEPS TO REVIVE

復興への道程

寄り添う勇氣とコミュニティの力

あなたの小さな気配りや思いやりが、曇り空を晴れにします

私にできることが、あなたにできることが、きっとあるはず。ゆっくりと、一歩ずつ、共に歩いていこう。



1)6月19日市民向け「こころの健康づくり講演会」を聴く市民ら。150人を超える参加者が、ケア・サポートの在り方を考えるなど、関心の高さがうかがわれた/2)講演する高岡昂太千葉大大学院医学研究センターのこころの研究センター特任助教/3、4)講演会に引き続き行われた「保健活動部会と講師との情報交換会」。ケア・サポートについて専門の見地から情報交換をした。

復興は元気な心と体から

被災者の心情は一人一人違う。必要とする支援やその内容も千差万別だ。全ての人に完全・完璧な支援をすることは難しい。むしろ、支援に満足しなかったり、困難を感じたりする方が多いかもしれない。一方、被災者自身の中で「できないことはやらない」「見たくないことにはふたをする」「状態が続くと、自然に回復するチャンス逃してしまおう」ともある。

私たちは、日常はもとより非常時にこそ考えるべき心のつながりを知り、被災した人たちの心の支えになっていくことが大切だ。被災者のこころのケアには、地域コミュニティの維持回復・再構築が効果的。人と人との出会いやつながりが孤立感を解消することで、疲れた精神や傷ついた心が回復に向かうこともある。

不安と不満を解消する情報

家族を亡くしたり、自宅を失ったりした人は、不安と不満でいっぱい。我慢すればするほどストレスがたまり、心や体の不調を招いてしまう。不安と不満を解消するために情報は欠かせ

も少なくない。特に、復興期にはコミュニティの力を活用して、できるだけ多くの被災者が互いに「つながっている」ことを実感できる仕組みが不可欠だ。

地域や行政は、災害でダメージを受けたコミュニティを再生させたり、災害で新たに誕生したコミュニティを育成したりするなど、被災者が自ら進んで社会参加できるコミュニティを再構築しなければならぬ。「お茶つこ交流会」など被災者が集う場所、ほっとできる居心地の良い場所をつくるのが急務だ。

こころとからだをリセットしましょう

リラクゼーション法を紹介します

- ### 腹式呼吸
- ①息を吸います。鼻からゆっくりおなかいっぱい、口は閉じて
 - ②おなかいっぱいきれいな空気をためる気持ちで。この時おなかに手を当てて、おなか膨らむことを確認してください
 - ③口をすぼめて細く長ーく息を吐きます
 - ④吐くことに意識を集中。おなかをへこませます(3秒吸って、6秒吐くイメージ)
 - ⑤吐き切ったら、また鼻から吸います。数回(自分のリズムで)続けます

筋肉の力を抜こう

- ①5秒間、あえて肩に力を入れてみる
- ②深呼吸しながら
- ③70%くらいの力でOK。痛い場合は無理しない
- ④一気に力を抜いて、息を吐く。同じように次の順番でやってみましょう
つま先→ふくらはぎ→太もも→おしり→お腹手→手首→二の腕→肩→胸→背中→首→顔 「昼寝している猫」のように力が抜けていくのをイメージしながらやってみましょう

楽しい活動していますか？

- ①自分にとって楽しい活動を紙に書き出してみましょう。たとえば、「震災以前までやっていたこと」「いつもしたいと思っていたこと」など
- ②難易度を下げてみましょう
釣りに釣具店に行く→釣りの番組を見る
温泉旅行→旅行パンフレットを見る→温泉風呂剤を使う など
- ③カレンダーに楽しい活動の予定を書き込んでみましょう
- ④実際にやってみましょう

心寄り添えるコミュニティ

被災者は人と交流する機会を求めている。実際、過去の災害事例からも、「地域コミュニティのつながりが被災者の生活復興感の改善に大きく影響し、こころの健康を保つために役立つ」と報告されている。

高岡昂太特任助教は「被災者がそれぞれの能力に応じてコミュニティに参加できる支援が必要。コミュニティは生活の場、職場、学校など多層的に広がっている。孤立を防ぎ、自立を促す取り組みを、あらゆるコミュニティのさまざまなシーンで実践していくことが大事」と強調する。被災者が元気や活力を取り戻して本来の能力を発揮できる生活を実現するためには、心を寄り添える場所が不可欠だ。

「こころの健康チェック」自分でできる仕組みをつくります

「市内避難者家庭訪問事業」(全数訪問)で「こころの健康調査」などを実施しました。抽出した課題解決に向け、市関係課、市民活動支援センターや社会福祉協議会などが連携して取り組みました。避難者のさまざまなニーズに対応する「お茶つこサロン」などはケア・サポートの成功事例の一つです。また、精神科医や臨床心理士のスーパーバイズやワークショップの協力を得て、現場の支援従事者は二次

受傷を予防しながらスキルアップすることができました。「寄り添いは、かたつむりが目を出してくれるのをじっと待つイメージ」と話された新津先生の言葉がとて心に残りました。今後は▶血圧測定のように自分でこころの健康チェックを行い、数値化する▶自覚したストレスのレベルによって対応を選択できるよう啓発する一など、自助・共助・公助が連携して一人一人の健康な心づくりを目指します。

※スーパーバイズ…カウンセラーが自分より経験豊富なカウンセラーに指導などを受けるためのカウンセリング
※二次受傷…外傷体験を負った人の話に耳を傾けることで生じる被害者と同様の外傷性ストレス反応



室根町折壁 赤坂幸吉さん 明子さん

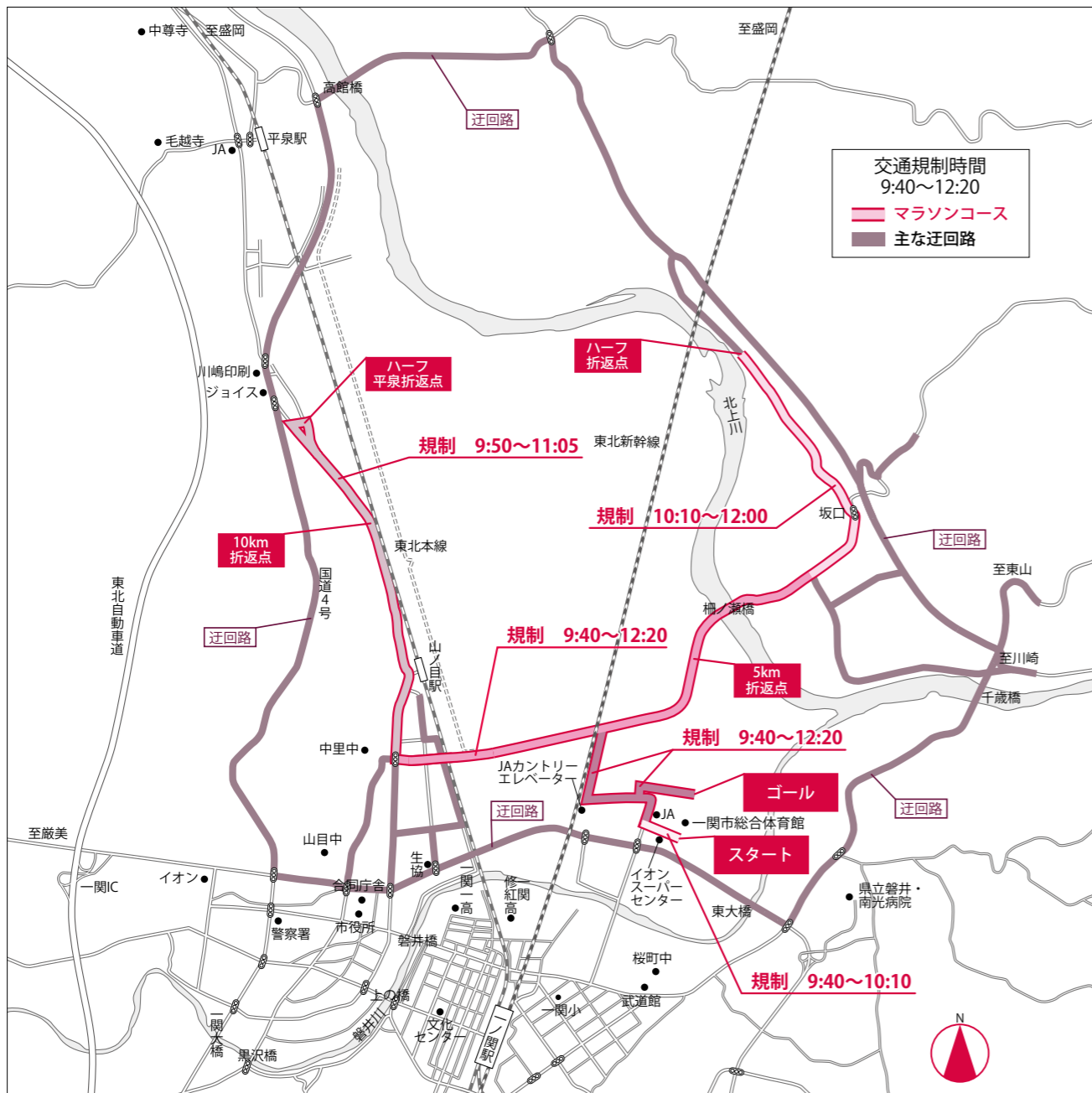
地域の皆さんに支えられ、癒やされ、安心して暮らしています。被災後、2011年4月11日から室根町で生活しています。地域の皆さんは、私たちを行事に誘ってくれたり、農作業などの手伝いに声を掛けてくれたり、常に気に掛けてくれます。おかげで安心して暮らしています。ありがたいです。最近、「むろね山野草の会」に入れていただき、趣味の盆栽を始めました。毎日、「今日が最良の日」という思いで、前を向いて歩いています。時々、訪ねてくる仙台と気仙沼の孫たちと、ここで過ごす時間も楽しみの一つです。

地域医療推進担当 鈴木久仁子 健康づくり課長補佐



第31回一関国際ハーフマラソン大会 コースと迂回の案内

「第31回一関国際ハーフマラソン大会」は9月23日⑧、一関市総合体育館「ユードーム」周辺を発着地点に行われます。当日は交通が規制されます。警察や交通指導隊などの指示に従って通行してください。



- 期日 9月23日⑧
- スタート時間 【ハーフマラソンの部】9:50 【5⁺の部】9:55 【10⁺の部】10:05
- 場所 【スタート】イオンスーパーセンター北口【ゴール】市総合体育館
- コース
- 《ハーフマラソンの部》18歳以上の男子・女子
スタート→ライスセンター→新幹線下→尾上屋前交差点→10⁺折返→平泉大内動物病院→尾上屋前交差点→新幹線下→柵ノ瀬橋→坂口交差点→和田折返→坂口交差点→柵ノ瀬橋→新幹線下→ライスセンター→ゴール
- 《10⁺の部》18歳以上の男子・女子
スタート→ライスセンター→新幹線下→尾上屋前交差点→10⁺折返→尾上屋前交差点→新幹線下→ライスセンター→ゴール
- 《5⁺の部》50歳以上の男子・40歳以上の女子
スタート→ライスセンター→新幹線下→5⁺折返→新幹線下→ライスセンター→ゴール



- 大会当日の大会本部 ☎0191・21・2139
- 一関国際ハーフマラソン大会事務局 (一関市総合体育館内) ☎0191・31・3111

放射性物質の測定 放射能対策が本格化

市は継続して農林水産物の放射性物質を測定しているほか、夏休み期間を利用して学校等施設の除染工事を急ピッチで進めています。

表1 一関市産野菜の放射性物質濃度検査結果(7月)

品目	測定結果	検出下限値
ホウレンソウ(ハウス)	不検出	19未満
タマネギ(露地)	不検出	14未満
サヤインゲン(露地)	不検出	17未満
二条大麦	不検出	3.6未満

●測定機関 (野菜類)岩手県農業研究センター (麦類)日本冷凍食品検査協会 ●測定機器 ゲルマニウム半導体検出器

表2 放射性セシウム134と137の合計値の結果区分ごとの検体数(7月)

品目	基準値100ベクレル/kg以下の検体数()内は「不検出」(*注1)検体数		基準値(100ベクレル/kg)超過の検体数
	野菜類	果実類	
ジャガイモ	61(61)	0	0
タマネギ	25(25)	0	0
キュウリ	24(24)	0	0
ニンニク	15(15)	0	0
カボチャ	14(14)	0	0
ナス	12(12)	0	0
キャベツ	11(11)	0	0
シソ	10(10)	0	0
ニンジン	10(10)	0	0
トウモロコシ	9(9)	0	0
サヤインゲン	7(7)	0	0
大根	7(7)	0	0
ズッキーニ	6(6)	0	0
白菜	6(6)	0	0
モロヘイヤ	5(5)	0	0
ユウガオ	5(5)	0	0
ツルムラサキ	4(4)	0	0
ネギ	4(4)	0	0
ブルーベリー	30(29)	1(*注2)	0
梅	25(21)	0	0
スモモ	5(5)	0	0
桃	4(4)	0	0

●測定検体数が4以上の品目を一覧 ●4月からの食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg)に基づき区分。*注1…「不検出」は検出限界値未満を示し、核種ごとに25ベクレル/kg(40分測定)。*注2…超過した1検体は自家用 ●測定場所 南部農業技術開発センター(花泉町金沢) 北部農業技術開発センター(大東町摺沢) ●測定機器 トライアスラーベクレルファインダー(シンチレーション放射線核種測定器による簡易測定)

放射能測定情報はここから

- 市ホームページ「環境放射能に関する情報」(福島第一原子力発電所事故関係) <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/index.cfm/1,0,157.html>
- 岩手県ホームページ <http://www.pref.iwate.jp/>「環境放射能に関する情報」(福島第一・第二原子力発電所事故関係)など

県が「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づき実施した「一関市産の農産物(7月分)の放射性セシウムは、4品目4検体全てで不検出でした。〈表1〉」また、市民の依頼で市が7月に測定した農林産物は350検体。そのうちブルーベリー、どくだみ、柿の葉、そばの4品目4検体で食品衛生法上の基準値(一般食品100ベクレル/kg、米や豆類は暫定規制値500ベクレル/kg)を超

4品目で基準値を超える

えましたが、野菜類268検体は全て不検出でした。〈表2〉

夏休み中に学校などを除染

市は「一関市除染実施計画」に基づく学校等施設除染工事を進めています。対象は、今春実施した「第5回学校等における一斉測定」で校・園庭の平均空間線量率が毎時0.23マイクロシーベルト以上の32施設。国の補助を受けながら、被ばく線量の低減対策を進めています。



除染方法は、国のガイドラインに沿い、①重機で校・園庭の表土を5センチ剥ぎ取る②剥ぎ取った表土を深さ1.6メートルの穴に埋設する③遮水シートで覆い、その上に掘削した下層の土を30センチ盛って遮蔽する④校・園庭全体を5センチの山砂で整地する。5月22日の新沼保育園を皮切りに始まった作業は8月5日現在、幼稚園2園、保育園5園の7施設で工事が完了。ほとんどの施設で夏休み中の工事完了を目指しています。

このうち秋荘小学校庭では、地元秋荘の(株)スガノ建設(菅原道社長)の作業員約10人が連日、猛暑の中で大型重機などを使って表土を除去し、山砂を盛って整地する作業に当たっています。菅原社長は「子供たちが校庭で元気がいっぱい遊んだり、運動したりできるよう、急ピッチで工事を進めています」と話しています。市教育委員会は「施工後の線量率は、いずれも0.1マイクロシーベルト未満になりました」と効果を実感しています。

本庁健康づくり課 ☎②1260
 東山支所保健福祉課 ☎④4530
 花泉支所保健福祉課 ☎②2216
 室根支所保健福祉課 ☎④3805
 大東支所保健福祉課 ☎⑦1211
 川崎支所保健福祉課 ☎④4022
 千厩支所保健福祉課 ☎③3952
 藤沢支所保健福祉課 ☎③5304

「北方領土の日」に関するポスター

北方領土返還要求運動をさらに高めるためのポスターコンテスト

【スタツフ募集】
 大会運営をサポートするスタツフを募集します。年齢、性別不問。大会事務局まで。
 ①同大会事務局(川崎防災センター管理事務局内) ☎③5666
 ◇申し込み：大会事務局に備えつけの参加申込書に記入のうえ提出
 ◇受付期間：8月7日④～19日⑥(13日⑤、16日⑥を除く)
 ◇参加費：1チーム1万円
 ◇定員：先着60チーム
 ◇募集内容：10人1チーム(小学5年生以上で構成)

Eポート大会の参加チームとスタツフ

第18回北上川流域交流Eポート大会の参加チームとスタツフを募集します。
 ◇日時：9月2日⑨9時～16時(小雨決行。川が増水した場合は中止)、1日④14時30分から体験乗船・安全講習会を実施。詳しくは問い合わせください。
 ◇会場：北上大橋付近の北上川
 【参加チーム募集】
 ◇募集内容：10人1チーム(小学5年生以上で構成)

募集

トを実施します。

◇応募資格：高校生以上
 ◇募集内容：「北方領土の日」ポスターのデザイン※詳しくは左記のホームページで
 ◇応募締切：10月31日⑥(当日消印有効)
 ①北海道総務部北方領土対策本部 ☎060-8588札幌市中央区北3条西6丁目 ☎011-204-5069 / ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sn/hrt/hopporyodo/index.htm>

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	24年5月1～18日生まれ 24年5月19～31日生まれ	26⑩ 27⑩	12:45～13:00	一関保健センター
	9～10カ月児相談	23年11月1～14日生まれ 23年11月15～30日生まれ	26⑩ 27⑩	8:45～9:00	
	1歳6カ月児健診	23年2月1～9日生まれ 23年2月10～28日生まれ	12⑩ 13⑩	12:45～13:00	
	2歳6カ月児歯科健診	22年3月1～16日生まれ 22年3月17～31日生まれ	12⑩ 13⑩	8:45～9:00	
	3歳児健診	21年3月1～15日生まれ 21年3月16～31日生まれ	6⑩ 7⑩	12:45～13:00	
大東 東山	3～4カ月児健診	24年5月生まれ	26⑩	13:00～13:15	東山保健センター
	9～10カ月児相談	23年11月生まれ	25⑩	9:00～9:15	大東保健センター
	1歳6カ月児健診	23年2月生まれ	12⑩	13:00～13:15	大東保健センター
	2歳6カ月児歯科健診	22年3月生まれ	25⑩		
	3歳児健診	21年3月生まれ	11⑩	12:45～13:00	川崎防災センター
千厩 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	24年5月生まれ	19⑩	12:30～12:45	千厩保健センター
	9～10カ月児相談	23年11月生まれ	25⑩	9:00～9:15	
	1歳6カ月児健診	23年2月生まれ	27⑩	12:30～12:45	
	2歳6カ月児歯科健診	22年3月生まれ	25⑩	13:00～13:15	
	3歳児健診	21年3月生まれ	26⑩	12:30～12:45	

相談 専門の医師による「こころの健康相談」

●期日・場所 8月23日⑥・一関保健所、9月20日⑥・千厩分庁舎
 ●時間 13:30～15:30
 ●費用 無料
 ●受け付け 事前に予約が必要
 ①一関保健所保健課☎②1415、本庁健康づくり課または各支所保健福祉課
 健康 「ひきこもり家族教室」で家族同士の悩みの共有や交流を
 ●日時 8月31日⑤ 13:30～16:00
 ●場所 一関保健所
 ●費用 無料
 ●講師 心理カウンセリングオフィス 所長沖田憲一氏
 ①一関保健所保健課☎②1415

表示量の正確さを調査する計量モニター

店で購入した食品の表示量(重さ)が正確かどうかを調査する計量モニターを募集します。
 ◇期間：9月29日④～10月28日

岩手の治安を守る 警察官になりませんか

若手県警察官B採用試験
 ◇一次試験：【日時】9月23日⑥
 【会場】奥州市、滝沢村、大船渡市、釜石市、宮古市、久慈市
 ◇受付期限：8月31日⑤
 ◇受験資格：昭和58年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人。ただし大学卒業生(見込みも含む)などは受験できません(短大は除く)
 ①一関警察署☎②0110

美しいハーモニイが広がる合唱の祭典

「第26回コーラスいわいフェスティバル」は、いわい地方で活動するコーラスグループ28団体が出演する合唱の祭典です。
 ◇日時：9月2日⑥ 開場10時、開演10時30分
 ◇場所：一関文化センター大ホール
 ◇入場料：500円(全席自由)
 ①いわい地方芸術文化団体協議会(一関文化センター内) ☎②2121

指管理者財団法人岩手県建築住宅センター

①指定管理者財団法人岩手県建築住宅センター☎0120-208201
 ②Aromaセラピー講座です。
 ◇日時：8月30日⑥、9月7日⑥・14日⑥いずれも19時～21時
 ◇場所：一関勤労青少年ホーム
 ◇定員：先着20人
 ◇経費：1000円(3回分)
 ◇講師：菅原妙子さん
 ◇対象者：市内に居住または勤務している36歳以下の人。定員に満たない場合はどなたでも可。
 ◇申し込み：8月25日④までに経費を添えて左記まで
 ①一関勤労青少年ホーム☎②2144

検診 4歳・5歳歯科健康診査

対象者は9月中に受診を
 19・20年3月生まれの人は契約歯科医療機関で受診してください。
 ①本庁健康づくり課☎②2160または各支所保健福祉課

【室根地域】27日⑥▶9:30～9:50・佐野地区会館▶10:10～11:00・第15地区会館▶13:20～13:40・浮野地区生活改善センター▶14:00～14:20・旧津谷川小学校▶14:40～15:00・平原地区会館、28日⑥▶9:30～9:50・田茂木地区コミュニティセンター▶10:20～10:40・第4区集落センター▶11:00～11:20・浜横沢下地区会館▶13:30～14:15・室根ふるさとセンター▶14:30～15:00・室根支所、29日⑥▶9:30～9:50・ひこぼえの森交流センター▶10:10～10:30・高沢地区集落センター▶10:50～11:10・西の沢地区集落センター
 ①千厩支所保健福祉課☎③3952または室根支所保健福祉課☎④3805

健康 ひきこもり当事者の居場所「フリースペースひだまり」

●日時 9月3日⑥ 13:30～16:00
 ●場所 一関市勤労青少年ホーム
 ●費用 無料
 ●受け付け 事前に予約が必要
 ①一関保健所保健課☎②1415

検診 千厩地域と室根地域で8月の結核健康診断

申し込んでいない人で受診を希望する場合は問い合わせください。
 ●受付日時・場所…【千厩地域】29日⑥▶13:30～13:50・みなみ交流センター▶14:20～14:40・小梨公民館▶15:10～15:30・遊もあ館、30日⑥▶9:00～9:15・マリアージュ駐車場▶9:45～10:00・JA葬祭センター駐車場▶10:30～10:45・JR千厩駅▶11:15～11:35・エスピア第2駐車場▶13:20～13:40・にぎりぬま会館▶14:10～14:30・磐清水文化センター▶15:00～16:00・千厩保健センター、31日⑥▶9:00～9:20・大平集落センター▶9:50～10:10・宝築集落センター▶10:40～11:00・三沢自治会館▶11:30～11:50・維新館(奥玉公民館)▶13:20～13:40・町下会館▶14:10～14:30・寺崎前構造改善センター▶15:00～16:00・千厩保健センター

相談 50人未満の小規模事業所を対象に健康相談を実施

専門の医師が相談に応じます。電話やファクスでも随時受け付けています。
 ●窓口相談日時 ①9月6日②13日・20日・27日いずれも④13:00～15:00
 ●場所 ①一関商工会議所千厩支所②一関市医師会
 ①岩手県一関地域産業保健センター☎③5110 / FAX③9955

健康 親子で参加しませんか「すこやか幼児教室」

●日時 9月11日⑥9:30～12:00(受け付け9:15～)
 ●場所 一関保健センター
 ●対象 9～10カ月相談終了後～1歳6カ月児健康診査前の子供と保護者
 ●内容 栄養士・保健師の講話、調理実習、試食など
 ●定員 先着12組
 ●費用 200円(調理実習費)
 ●受付期限 9月4日④
 ①本庁健康づくり課☎②2160

多彩なイベントが目白押し 2年ぶりのかわさき花火大会

42回目となる「かわさき夏まつり花火大会」です。
 ◇期日…8月16日⑥
【昼の部】
 ◇時間…10:00～15:00
 ◇場所…川崎運動広場駐車場
 ◇内容…①柴田三兄妹の洋軽三味線②FMあずも現地生放送一など
【花火大会】
 ◇時間…19:00～21:00
 ◇場所…北上大橋付近
 ※詳しくは下記まで問い合わせください
 ①かわさき夏まつり実行委員会(一関商工会議所川崎支所内) ☎③2440

一関地区の県営住宅に入居を希望する人

①募集期間：9月10日⑥～14日⑥
 ※申込書などは9月3日⑥から配布開始
 ◇申し込み：郵送または持参で左記まで
 ※募集団地、戸数など詳しくは問い合わせください

催し・講座

仕事の疲れやストレスをアロマで解消

Aromaセラピー講座です。
 ◇日時：8月30日⑥、9月7日⑥・14日⑥いずれも19時～21時
 ◇場所：一関勤労青少年ホーム
 ◇定員：先着20人
 ◇経費：1000円(3回分)
 ◇講師：菅原妙子さん
 ◇対象者：市内に居住または勤務している36歳以下の人。定員に満たない場合はどなたでも可。
 ◇申し込み：8月25日④までに経費を添えて左記まで
 ①一関勤労青少年ホーム☎②2144

あなたの感性で素敵な句を

今年で10回目を迎えるみちのく「二夜庵」俳句大会です。
【募集句】
 ◇当季雑詠：三句一組
 ◇投句料：一組1000円
 ◇締め切り：8月30日⑥
【俳句大会】
 ◇日時：10月6日④9時30分から受け付け
 ◇会場：市総合福祉センター
 ◇席題：当季雑詠二句一組
 ◇当句料：1500円(昼食代含む)
 ①大会事務局 伊勢田☎②259
 〒021-0901 真柴字中田134-134

社交ダンス教室で踊りませんか

一関市民館主催の「社交ダンス教室」です。
◇日時：9月12日～11月28日までの第2、第4回(全6回)いずれも13時30分～15時30分
◇場所：一関市民館
◇定員：先着20人
◇受講料：無料
◇申し込み：8月15日(金)9時から電話で
一関市民館 ☎ 2148

車いすテニス大会でふれあいの輪を広げよう

「第20回みちのくふれあいカップin一関」車いすテニス大会です。
◇日時：8月26日(日)8時50分～17時
◇場所：一関運動公園テニスコート
◇内容：ニューミックス(障がい者と健常者のペア)
一関市 ☎ 2162

就職活動対策セミナーを受講して本番に備えよう

◇日時：8月31日(金)10時～16時
◇場所：一関文化センター小ホール
◇内容：応募書類の書き方、面接の受け方など就職活動の基礎

生涯スポーツ教室 毎日の暮らしに運動を

①ダンススポーツ
◇期日：9月26日～10月24日までの毎週(全5回)
◇時間：19:30～21:00
◇場所：一関市総合体育館
◇定員：先着30人
◇参加料：500円

②トレーニング
◇期日：9月25日～11月20日までの毎週(全8回(10月9日を除く))
◇時間：14:00～16:00
◇場所：一関市総合体育館
◇定員：先着20人
◇参加料：1,000円

【共通事項】
◇資格：市内に居住または勤務する人
◇申し込み：8月15日(金)から
一関市総合体育館 ☎ 3111

から実践までを学びます。

◇対象：45歳未満の一般求職者
◇定員：先着20人
◇受講料：無料
◇申し込み：所定の申込書に記入の上、ハローワーク一関またはジョブカフェ一関へ持参。電話、ファクスはジョブカフェいわてへ
※①申込書は、ジョブカフェいわてホームページからダウンロードできます②このセミナーは、雇用の失業認定における求職活動に該当します
一関市ジョブカフェいわて ☎ 019・621・1171 / FAX 019・606・3702 / ホームページ http://www.jobcafe-ijp

実行力の高い組織づくりに必要なスキルを学ぼう

実行力の高い組織を構築するために必要な問題解決力のスキルアップを目的に開かれる「クリティカル・シンキングセミナー」第

2回」です。

◇日時：10月10日(日)9時～17時
◇場所：本庁会議室
◇講師：㈱グロービス派遣講師
◇対象：市内事業所の経営者、管理職
◇受講料：無料
◇定員：先着25人
◇申し込み：8月20日(日)～9月5日(金)までに左記へ
一関市労働政策課 ☎ 8461

県内への就職希望者はぜひ参加してください

「第2回いわて中小企業合同就職説明会」です。
◇日時：9月3日(日)13時～17時(受け付けは12時から)
◇場所：いわて県民情報交流センター・アイーナ
◇内容：県内の中小企業約15社による個別面談・就職相談、いわて中小企業就職センター試験の概要説明など

パソコンの基礎などを研修して就職を有利に

新規卒業者・求職者情報化研修です。
◇日時：9月20日(金)～10月25日(金)までの平日9時～16時
◇会場：一関市職業訓練センター(舞川)
◇対象・定員：市内に居住または市内の学校を卒業し市無料職業紹介所に求職を申し込み人で、市主催パソコン研修の受講歴が

くらしとお金のセミナー&相談会 in 一関 災害に負けない生活基盤を

◇日時：9月8日(土)13:00～17:00
◇場所：本庁会議室棟第1会議室
【講演】
①「災害に負けない! 住まい&マネープランのポイント」(先着50人)
②「災害復興住宅融資の概要」
【FP(ファイナンシャルプランナー)による無料相談会】
◇時間：①15:00②16:00
◇定員：先着8組(一組当たり50分)
◇内容：生活再建、二重ローン問題、保険、資産運用、相続、土地活用など
◇申し込み：8月31日(金)までに下記へ
一関市生活環境課 ☎ 8342

信用生協一関相談センターの借金整理・消費者問題の相談

①債務整理のための消費者救済資金の融資相談・暮らしとお金の安心相談(予約制)
◇日時：毎月(金)9:00～17:00
②弁護士・司法書士による消費者問題の相談(予約制)
◇日時：毎月(金)16:00～、毎(土)17:00～
【共通事項】
◇場所：信用生協一関相談センター
一関市消費者信用生活協同組合一関相談センター ☎ 6031

交通事故巡回相談 (予約制)

◇日時：9月4日(土)13:00～15:00
◇場所：市役所本庁
◇申し込み：9月3日(金)17:00までに下記へ
◇その他：予約制です。申し込みがない場合は中止となります。
一関市生活環境課 ☎ 8342

特殊技術を習得して自己のスキルアップを

フォークリフト運転技能講習(31時間講習)
◇期日・会場：【学科】9月14日(金)・【実技】9月15日(土)
一関市労働政策課 ☎ 8461

農業に興味のある人は新農業人フェアへ

就農相談会「新農業人フェア in 一関地方」です。
◇日時：8月25日(土)10時30分～

相談

悩みあるひとり親世帯 気軽に相談してください

母子家庭等特別(法律)相談です。
◇日時：9月11日(土)、12月14日(金)いずれも10時～15時
◇場所：一関保健福祉環境センター相談室(一関地区合同庁舎内)
◇対象：母子家庭の母、寡婦、父子家庭の父
◇費用：無料

出前相談会で若者たちの就職を支援

「働きたいけれど自信がない」「人付き合いが心配など就職に関する悩みの相談に応じます。
◇日時：8月18日(土)10時～16時
◇場所：総合防災センター
◇対象：15歳以上40歳未満の仕事に就いていない人(保護者だけでも相談可)
◇定員：10人(要予約)
一関市若者サポートステーション ☎ 019・625・8460

日本製紙クリネックススタジアム宮城 希望、夢、感動。 ともに、希望を描き、夢を語り、感動する。そして...復興へ向かい『ともに、前へ。』 日本製紙株式会社 日本製紙クレシア株式会社

第23回 ICN 歌謡王座決定戦 出場者募集中! みんなで応援にきて下さい! 開催日:9月22日(土) 16:30開場・17:00開演 一関文化センター大ホール 協賛 岩手日日新聞社 後援 一関市



お知らせ

一関文化センター駐車場入口を工事のため変更

新一関図書館建設工事のため、一関文化センターの駐車場入り口が東側から西側(くま陶さん側)に変わります。歩行者は、上ノ橋通り側(文化センター1正面入り口)、西側(くま陶さん側)を通行してください。工事期間中は、大型車両などが頻繁に出入りしますので、付近を通行する時は十分注意してください。

◇変更期間：9月1日(土)～26年2月(予定)
●教育委員会図書館開設準備室 ☎260820

夏本番「水の事故」に気を付けましょう

夏本番です。例年この時期は、海や川で遊泳中に溺れて亡くなったり、河川敷で鉄砲水に遭って中州に取り残されたりする事故が発生しています。水辺で遊ぶときは▼複数で出掛け、一人で行動しない(させない)▼危険な場所には近寄らない▼水に入る前には準備運動を▼浮き袋やロープを携行するなどを心がけましょう。
●一関警察署 ☎20110

9月1日は防災の日 災害に備え日頃から準備を

9月1日は「防災の日」です。8月30日～9月5日は「防災週間」です。災害時の家族間の連絡手段、避難路・避難場所を日ごろから確認しておきましょう。飲料水、非常食、非常用ラジオ・ライト、非常持ち出し品など準備をしておきましょう。

【地震が発生したら】

▶火の始末をする。ガスの元栓を締める▶落下物や家具の転倒に注意する▶慌てて外に飛び出さない▶自動車は道路左側に車を寄せる▶渋滞が予想される場所へ車で避難しない▶ラジオなどで地震情報を聴く▶海の近くにいるときは津波に備え高台に避難する。津波注意報、津波警報に注意し、解除になるまで海岸付近には近付かない

【台風・集中豪雨】

▶テレビやラジオで気象状況を確認する▶外出は控える▶低い土地やがけ崩れの恐れのある場所では、すぐに避難できるよう準備する

●一関警察署地域課 ☎20110

震災で失った建物の滅失登記を職権で行います

盛岡地方務局は、東日本大震災で倒壊、流失または焼失した市内の建物の建物滅失登記を職権で行います。皆さんの協力をお願いします。
◇調査期間：9月初旬から12月初旬まで
◇完了予定：25年2月
●盛岡地方務局一関支局 ☎4149

8月30日～9月5日は建築物防災週間

8月30日(金)から9月5日(木)まで建築物防災週間です。県は、市や消防と共同で、防災上の配慮が強く求められる建築物を中心に防災査察を行います。この期間中は防災相談所を設置し、建築に関する地震対策や建築物の

防災に関する相談に応じます

◇防災相談所の設置場所：左記
●岩手県土木整備部建築住宅課 ☎019-629-5937、
県土木部一関土木センター ☎1418

児童扶養手当と特別児童扶養手当

【児童扶養手当】
◇対象者：▼父母が離婚▼父または母が死亡・重度障害・行方不明・配偶者から暴力を受けて保護命令を受けている・刑務所などへ収容されている▼未婚で出産の状況にある児童を養育している父、母または養育者(祖父母など)
◇支給期間：児童が満18歳に達する年度の年度末(児童に障がいがある場合は、満20歳の誕生日)まで
◇手当月額：対象1世帯につき

き▼全部支給 4万1430円
▼一部支給 4万1420円
(9780円 ※所得額による。児童が2人の場合、5000円加算、3人目以降1人につき3000円加算)
◇対象にならない人：▼手当を受ける父または母が事実上の婚姻関係にある▼手当を受ける人または児童が、公的年金(遺族年金・障害年金など)を受給でき

る▼児童が社会福祉施設に入所している場合
【特別児童扶養手当】
◇対象者：▼身体障害者手帳1級～3級・4級の一部▼療育手帳A・Bと同等程度の心身に障がいのある児童の保護者(障がいの程度により、手当の等級や該当の有無が決定)
◇支給期間：児童の満20歳の誕生日まで
◇手当月額：1級 5万400円、2級 3万3570円

家庭ごみの野外焼却は法律などで禁止されています

家庭ごみの野外焼却(野焼き)は煙・悪臭により近隣に迷惑がかかるほか、ダイオキシン類や有害物質の発生の原因になることから法律などで禁止されています。また、例外規定で認められている焼却行為もありますが、放射性物質の飛散防止、山林火災防止のために枯草や稲わらなどの野焼きも自粛しましょう。
※詳しくは問い合わせください
●本庁生活環境課または各支所市民課

県立大東病院が新患受け付けを再開

震災の影響で中止していた新規患者の診察受け入れについて、

被災者には特例措置も「国の教育ローン」

常勤医がいる内科と神経内科で再開しました。ただし、症状の程度や医師の体制によっては診察できない場合もあります。他の診療科はこれまでどおり再来患者を対象とする診療です。
◇診療科：内科(※を除く)、神経内科(※を除く)
◇受付時間：10時まで
◇その他：予約患者の診療を優先しますが、具合の悪い人は看護師などに申し出てください
●県立大東病院 ☎2121

日本政策金融公庫は、高校や大学などへの入学・在学中にかかる費用を対象とした「国の教育ローン」を扱っています。特に、震災で被害を受けた人を対象に、利率を引き下げるなど特別な条件で利用できる「災害特例措置」を実施しています。詳しくは問い合わせください。
●教育ローンコールセンター ☎0570-008656

●8月の納税

8月は市県民税2期と国民健康保険税2期の納付月です。納期限は8月31日(金)です。納期限内に納付しましょう。

一関市納税貯蓄組合連合会

※広告に関するお問い合わせは、岩手日日新聞社 ☎51111まで。

Devenir Rola Dress Collection advertisement featuring a woman in a blue dress and text about rental services and contact information.

日本女子ソフトボールリーグ一関大会 advertisement with match schedules, dates (9月1日, 2日), and venue (一関運動公園野球場).

撮 っ て お き い ち の せ き

Profile No.49 ヤマユリの群生地（大東・京津畑）



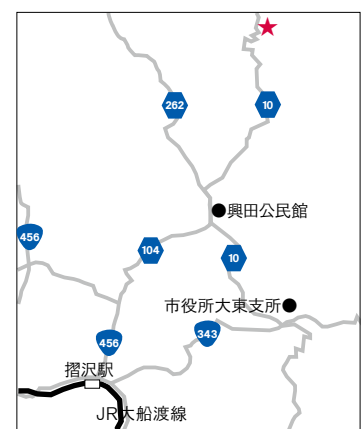
撮影データ:キャノンEOS7D EF-S17-55 F2.8 F6.3 1/80秒 スポット測光 ISO200 PhotoshopCS5.1

日本のふるさとに咲くユリの王様

今年は、平年より2日遅い7月26日に梅雨明けが発表されました。真夏の7月31日、大東町・京津畑集落を訪れました。市の中心部から約40キロ。市の北端に位置し、53世帯150人が暮らす山間の集落です。県道江刺室根線(10号)を北上し、細い道を抜けると集落の入り口。東側の高台に広がる美しいヤマユリの群生が目飛び込んできます。

ヤマユリの見頃は7月下旬から8月上旬。わずか1週間ほどです。直径20センチを超える大きな花は優美さと品格があり「ユリの王様」と称えられています。白い花びら、黄色い筋に紅色の斑点という華やかな色彩と山野に漂う甘い香りが多くの人を魅了します。

「京津畑まつり食の文化祭」など、住民力を結集した地域づくりが自慢の京津畑地区には、日本のふるさとを思わせる自然豊かな原風景が残されています。四季折々の自然と変わらぬ人情を求めて、市内外から大勢の人が訪れています。



【場所】
一関市大東町中川字大中斉地内
【アクセス】
市営バス「大中斉」バス停から徒歩約5分